

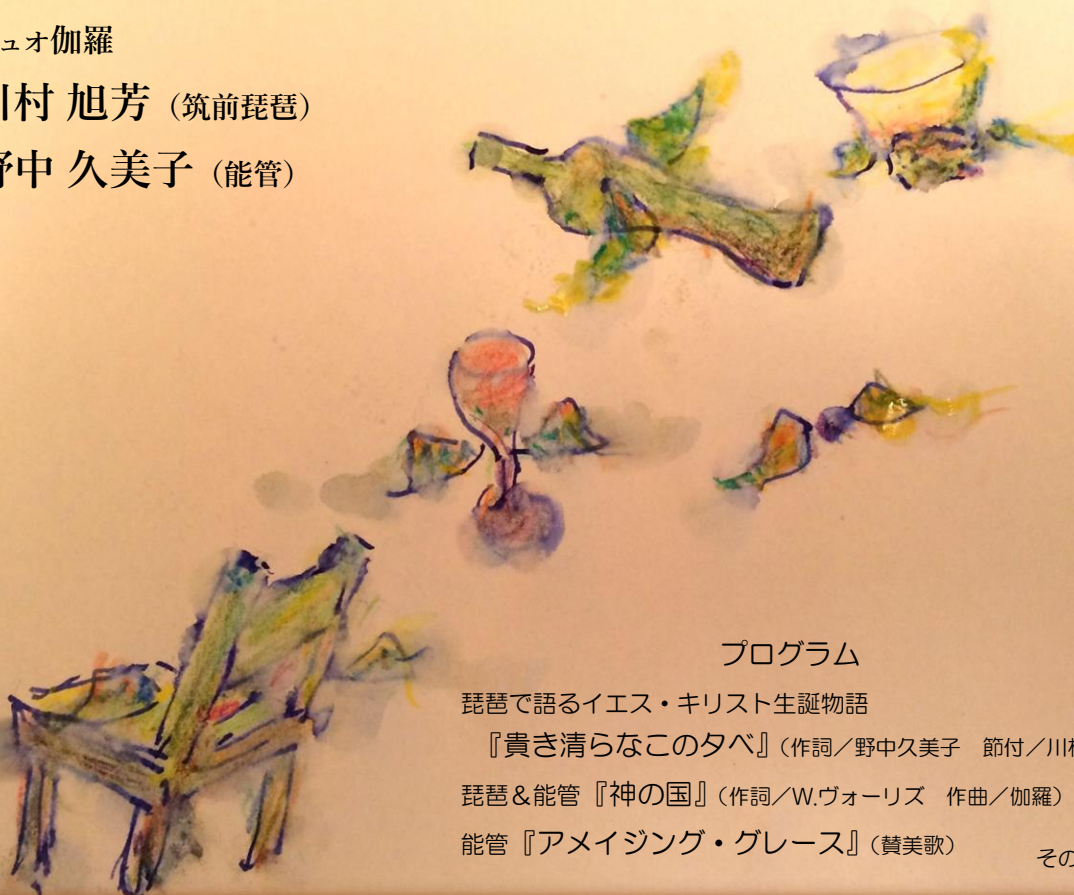
伽羅のクリスマスコンサート

琵琶×能管で聴く聖夜の物語 2022

デュオ伽羅

川村 旭芳 (筑前琵琶)

野中 久美子 (能管)



プログラム

琵琶で語るイエス・キリスト生誕物語

『貴き清らかなこの夕べ』(作詞/野中久美子 節付/川村旭芳)

琵琶&能管『神の国』(作詞/W.ヴォーリス 作曲/伽羅)

能管『アメイジング・グレース』(賛美歌)

その他

《日時》2022年12月25日(日)開演13時&17時 《各回10名様限定》

《会場》岩茶房 京都市中京区蛸薬師通東洞院東入ル Tel 075-211-3983

《入場料》¥3,500 (正岩茶・茶菓付き)

中国福建省武夷山の伝統製法で作られた希少なウーロン茶。2022年新茶をお楽しみください。

《お問合せ・お申込》岩茶房 E-mail: gancha-bou.kyo@true.ocn.ne.jp Tel/Fax 075-211-3983
風迢舎 E-mail: echo@fuu-chou-sha.jp Tel/Fax 075-951-2115



きゃら
《デュオ 伽羅》

筑前琵琶奏者の川村旭芳と能管奏者の野中久美子によって2002年に結成されたデュオ。空気を切り裂いて進むような能管の音と、嫋嫋と響く琵琶の音が、時に交じり合い、時に拮抗し合いながら、独特の音世界を織り上げてゆく。2005年開催の愛知万博「愛・地球博」、2013年出雲大社式年遷宮奉祝行事を始め、各種イベント・行事などに出演。神社・仏閣・キリスト教会から町家・銭湯まで、人の集まる様々な場での演奏活動を展開している。

写真は笙奏者 田島和枝さんをゲスト演奏者に迎えて行ったクリスマスコンサート（カトリック奈良教会 2018年）より



川村旭芳（かわむらきよくほう） 筑前琵琶

8歳の頃、筑前琵琶日本旭会 総師範 故二代柴田旭堂師に入門。現在、筑前琵琶日本旭会 師範。古典曲を継承しながら、新作の創作にも取り組む。箏・尺八・胡弓などの演奏家4人で2004年に結成された和楽器ユニット「おとぎ」代表。NHK-FM「邦楽のひととき」他、テレビ、ラジオに出演。動画投稿サイトYouTubeに「きよくほうチャンネル」を開設、ミュージックビデオなど公開中。

公式サイト <http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



野中久美子（のなかくみこ） 能管

1986年、国際基督教大学（ICU）教養学部卒業。能管を松田弘之師（能楽笛方森田流）に師事。ソロ活動に加えて、世界の様々な楽器や舞・朗読・演劇との共演も行い、能管のもつ力感や情動性など楽器の特性を生かした新しい作品を創作している。「風迢舎」主宰。パーカッション奏者の渡辺亮とデュオ《妖精・妖怪》、ダンサーのハイディー・S・ダーニングとデュオ《Sakura-la》としても活発に公演を行っている。

伽羅のクリスマスコンサートプログラム

琵琶で語るイエス・キリスト生誕物語 ～能管&ポルタティブとともに～

『貴き清らかなこの夕べ』（作詞/野中久美子 節付/川村旭芳）

琵琶&能管『神の国』（作詞/ウィリアム・ヴォーリズ 作曲/伽羅）

琵琶語り『噫無情』～レ・ミゼラブルより 銀の燭台～（ハイライト）

（原作/ヴィクトル・ユーゴー 作詞/河東素芥庵 作曲/三世橘旭翁）

琵琶語り『ゆく河の流れは』（鴨長明『方丈記』原文抜粋 節付/川村旭芳）

能管『アメイジング・グレース』（作詞/ジョン・ニュートン 作曲者不詳）

『天の羽衣』（作曲/野中久美子）

岩茶房 京都店



阪急烏丸駅・京都市営地下鉄四条駅から徒歩5分。御射山公園南

京都市中京区蛸薬師通東洞院東入ル
泉正寺町 318 シヤイン蛸薬師 1F
HP ganchabou-kyoto.com

岩茶房京都
公式 Facebook



野中久美子
公式 Facebook



川村旭芳
公式サイト

